

# VOICE

三好町では、町民の皆さんからの町政に対する意見を町長が直接お聴きする、対話集会「皆さまと語る会」を開催したり、提言箱や電子メールなどを通して「皆さまの提言」をいただいたりすることによって「心の通う対話の町政」を進めていくと努めています。この「コーナー」では「皆さまと語る会」で寄せられた意見と町長の発言要旨や「皆さまの提言」に寄せられた意見のうち、主に生活にかかわる内容の意見と回答を紹介しています。

今回は「皆さまの提言」に寄せられた意見の要旨と、それに対する三好町としての考え方を抜粋で紹介いたします。

## 皆さまの提言

意見

(提言箱)

### 7022顕彰の記念品の見直しについて

わたしは9月に行われた、三好町社会福祉大会で「7022」の顕彰で賞状と記念品をいただけるという内容の案内があり、心待ちにして出掛けました。そのとき記念品として賞状を入れる「額縁」をいただきました。しかし常識的に考え、額縁が記念品といえるでしょうか。

来年度もこの顕彰を行うのであれば、記念品は持ち帰るのに不便な額縁よりも、賞状入れの筒と歯ブラシの方が喜ばれると思います。一考をお願いします。

答え

(担当 保健センター)

### 現状のまま実施していくことを考えています

いつまでも豊かな食生活を維持し、健康的な社会生活を送るためには1日でも長く、1本でも多く自分の歯を残すことが大切です。

三好町では4月1日現在、満70歳の人を対象に歯と歯肉の状態を検査する、歯科健診を実施しています。この健診の結果、自分の歯が22本以上残っている人が「7022顕彰」の対象となります。以前は記念品と賞状入れの筒を受賞の記念にお渡ししていましたが、その記念品について、いろいろな意見を頂きました。そこで、ほかの顕彰の状況も参考に検討しましたが、賞状入れの筒はそのまま



社会福祉大会と同時に開催した総合福祉フェスタでは「お口の健康チェックコーナー」を開設

の状態で保管されることが多く、また歯ブラシは毛の硬さなどに人それぞれ好みの違いがあり、かえって難しいという理由で、平成14年度より額縁を記念品としています。

今後歯の健康の啓発のために有意義な事業であると思いますので、記念品も現状どおり額縁のまま継続していく考えです。

意見

(電子メール)

### 母子通園ルームの受け入れはどのようになっていますか

明知保育園で行われている「母子通園ルーム」を利用したいと思いますが、なかなか通園できません。障害のある子が療育を受けることのできる年齢は限られていると思います。受け入れの順番を待っているうちに子どもは成長し、療育を受ける機会が少なくなってしまうので受け入れ態勢はどのようになっていますでしょうか。

答え

(担当 子育て支援課)

### 利用希望があれば待つことなく通園できます

心身の発達上、ことばや人とのかわりにおいて発達支援が必要と考えられる幼児とその保護者の皆さんを対象に、今年の8月から母子通園ルーム「ふたば」を開設しました。

「ふたば」では、児童の日常生活に必

# コラム column



連載第40回

## 新しい地域にも消防団を

早いものでもう師走です。何となく  
忙しいのは、わたし一人だけではない  
と思います。今年は強力なインフル  
エンザが流行するようなこともいわれ  
ています。寒さが厳しくなる折ですか  
ら十分注意してください。

11月20日に、東郷町の愛知池で三好  
町・日進市・東郷町の尾三消防署管内  
の消防連絡協議会が主催して、林野火  
災を想定した合同訓練が開催されまし  
た。この訓練は毎年行われているもの  
ですが、今年は広い愛知池を山林に見  
立てて、大掛かりな放水中継訓練を実  
施しました。

3市町の消防団混成による連携作業  
で行われた訓練は、距離の長い堤防上  
の中央付近で吸水を行い、左右に6台  
ずつ分かれて消火用水を中継放水する  
ものです。消火用ホースの総延長距離  
はおよそ600メートルで中継する消

防車両は全部で12台。三好町からは4  
台が参加しました。尾三消防本部と3  
市町の消防団の息の合った素晴らしい  
訓練でした。また愛知県防災航空隊の  
ヘリコプターが応援のために飛来し消  
火訓練を実施。愛知池の水面すれすれ  
でホバーリングしながら、一度に1ト  
ンもの消火用水をほんの数分で吸水し、  
胴体下部から目標に向かって一気に放水  
しました。昨年管内で発生し、10時間  
に渡り約4ヘクタールが被害を被った  
山林火災のときにも防災ヘリコプター  
が活躍したと聞きました。

今わが町の消防団は旧来の行政区単  
位の13分団で町全域を担当しています。  
尾三消防組合は、昭和46年に設立され、  
昭和48年から消防業務を行っています  
が、常設消防署があっても消防団組織  
の重要性は変わるものではありません。  
団員は時として危険と向き合うことも  
ある大変な任務ですが必要な組織です。  
現在、消防団について「三好町消防団  
あり方検討会」で議論をしていただい  
ています。新しい地域にも消防団が誕  
生してくれることを願っています。

三好町長

久野知英

要な習慣を養ったり、集団生活の指導を  
したりしています。また保護者の皆さん  
には、子どもの心身の発達のための療育  
上の助言をしています。

開設にあたり、豊田市子ども発達セン  
ター「あおぞら」や「1歳6カ月児・3歳  
児健診事後教室」を実施している町の保  
健センターなどと連携して利用の案内を  
行いました。最初は1教室で始めました  
が、利用を希望する人が多いので、11月  
から2教室に増やしました。

母子通園ルーム「ふたば」は現在、保健  
センターなどの関係機関と連携を取りな  
がら、発達支援が必要と考えられる親子  
に「ふたば」を見学していただき、保護者  
の気持ちを確認しながらすぐに利用を始  
めることができます。



母子通園ルーム「ふたば」は、明知保育園で専用  
ルームと空き保育室を使って実施しています

## 皆さまからの提言をお待ちしています

三好町では、心の通う対話の町政を進めていこうと、町政に対する  
皆さんからの提言をいただくため「皆さまの提言箱」を設けています。

▶設置場所＝役場、サンネット、サンアート、町民病院、総合体育館、  
中央図書館

※提言は「皆さまの提言箱」のほか、下記のいずれかの方法でも受け  
付けています。

①電子メール…✉ teigen@town.aichi-miyoshi.lg.jp

②ファクス…☎ (32)2165

③郵便…〒 470-0295 三好町役場広報情報課あて(住所不要)

広報情報課 ☎ (32)8357

